

第2次
あま市男女共同参画プラン

令和7年度特別事業評価シート

令和8年6月
あま市

■あま市男女共同参画プランについて

1 プラン策定の趣旨

本プランは、あま市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画、DV防止、女性の活躍推進に向けた具体的な施策を総合的・体系的に実施するために策定しています。

2 プランの性格等

- ・計画期間は、令和4(2022)年度を初年度とし、令和13(2031)年度を目標年度とします。(10年計画)
- ・策定及び進行管理は、あま市男女共同参画審議会、あま市人権施策推進本部等、幅広い知見と総合的な検討体制のもとで行います。
- ・本プランの施策は、本市が主体となって関係部局相互が連絡調整を図りながら全庁で総合的に取り組むものとします。なお、関係機関・団体や企業への働きかけも取組対象とします。

3 プランの進行管理と評価

- ・1年に1回、実施状況を確認し公表します。また、市民意識調査をおおむね5年ごとに実施し、施策の効果を検証してプランを見直します。

■あま市男女共同参画プランの年次評価について

評価対象	評価項目	評価者	審議会での取り扱い
全事業	・達成度(A:8割以上、B:4～7割、C:3割以下) ・今後の方針(内容、経費)	担当課	・報告、説明
特別事業 (重点的に評価する事業)	・達成度(A:8割以上、B:4～7割、C:3割以下) ・今後の方針(継続、拡充、縮小、廃止) ・経費の実績額(算定できる範囲) ・男女共同参画の視点による配慮度 ・担当課が定める事業指標2項目	担当課 ただし事業指標については、アンケート結果等の客観的評価(アウトカム)を優先して定めてください。	・報告、説明 ・審議会から評価コメントをフィードバック

すべての施策の実施において男女共同参画による視点を持つために ～ジェンダー分析、ジェンダー主流化とは何か～

政策・施策のジェンダー分析とは、社会や家庭における男女の役割・立場が異なっている現状を把握し、施策が男女にどのように異なる影響を与えるか、例えば、現状の格差を拡大するか、縮小するかを分析することである。税制、社会保障制度、賃金制度等、女性の就業を始めとする個人のライフスタイルの選択に大きなかわりを持つことが指摘されている制度については、このような分析が必要とされよう。ただし、これらに限らず、様々な分野においてジェンダーに敏感な視点が有意義である。

例えば、公共施設において、小さい子供を連れ歩くことが危険であったり、不便の多いような建物や接近路の設計が行われていると、子育て中の女性にとって、そこを利用するのは肉体的・精神的な負担が大きいことが予想される。また乳幼児を座らせておく場所が男性トイレにも設置されるようになれば、父親が子供連れで行動しやすくなることが予想される。

男女共同参画社会の実現のためには、あらゆる社会システムの構築とその運営に当たって、それらが実質的に女性と男性にどのような影響を与えるかを常に検討する必要がある。このように、ジェンダーに敏感な視点をあらゆる分野に定着・深化させること、また、あらゆる分野の政策・施策の実施主体がジェンダーに敏感になることをジェンダー主流化(gender mainstreaming)と言う。

第2次あま市男女共同参画プランの体系

(目標像)

いろいろな 私でいい あなたでいい みんなが笑顔で生きるまち

基本目標1

人権尊重と男女共同参画
への意識改革

基本方針

- 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発
- 2 子どもにとっての男女共同参画
- 3 男女平等意識を育てる教育・学習の充実

基本目標2

あらゆる分野での
男女共同参画の推進
(あま市女性活躍推進計画)

- 4 政策決定過程への女性の参画の拡大
- 5 様々な分野における男女共同参画の拡大
- 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組
- 7 誰もが働きやすい職場環境づくり

基本目標3

誰もが安心して暮らすこと
ができるまちづくりの推進

- 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援
- 9 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援
- 10 生涯を通じた女性の心とからだの健康支援
- 11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進

基本目標4

あらゆる暴力の根絶
のための基盤づくり
(あま市DV防止基本計画)

- 12 暴力の根絶に向けた意識啓発
- 13 犯罪防止に配慮した環境整備
- 14 被害者の実情に応じた切れ目のない支援体制の充実

男女共同参画プラン 特別評価対象事業一覧

基本 目標	基本 方針	事業 番号	事業(取組)名	担当課
1	1	5	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催	人権推進課
		8	男性全般を対象とした参加型講座の開催	生涯学習課
	2	25	スクールカウンセラーや心の相談員の配置	学校教育課
	3	31	人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施	学校教育課
2	4	49	審議会、委員会への女性の登用促進	人権推進課 (関係各課)
		51	女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実施や女性リーダーの育成	人事秘書課
	5	56	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供	企画政策課
		57	社会教育活動を担う女性団体への支援	生涯学習課
	6	59	休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知	商工観光課
		65	集団保育が可能な障がい児保育の実施	保育課
		66	病児病後児保育の実施	保育課
		68	ファミリー・サポート・センター事業の実施	子ども福祉課
		70	放課後等デイサービス、日中一時支援事業の実施	障がい福祉課
		76	交流の場である「ふれあいカフェ(認知症カフェ)」の開催	高齢福祉課
	7	80	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供	人権推進課
3	8	88	シルバーカレッジ(市内在住または在勤の60歳以上の方を対象)、シルバーカレッジOB会(シルバーカレッジ卒業生を対象)の開催	生涯学習課
		89	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施	スポーツ課
		117	スポーツ・レクリエーション・文化活動を行う場の提供	スポーツ課
		130	生活に関わるあらゆる相談にきめ細かに対応するための母子家庭等相談の実施	子ども福祉課
		138	性的マイノリティ(LGBT等)の人権に関する講座の開催や、啓発物の配布	人権推進課
	9	145	複合的な課題やニーズに対応するための重層的支援体制の整備	社会福祉課 (関係各課)
	10	158	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施	健康推進課
	11	171	市の防災会議への女性の登用	危機管理課
		172	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発、連携体制の推進	人権推進課
4	12	176	女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12日～25日)について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施	人権推進課
		184	地域防犯灯の設置支援	危機管理課
	14	197	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児全戸訪問)の実施	健康推進課
		198	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会の開催	健康推進課

計 28

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	5	事業名	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催	担当課	人権推進課						
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革		基本方針 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発								
施策概要	施策②男女共同参画に関する理解を深めるための意識啓発と情報の提供										
施策概要	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等を開催する。 (男女共同参画講演会、男女共同参画週間パネル展、男女共同参画セミナー、男女共同参画職員研修)										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
① 計画		② 達成度	③ 実績		④ 方針						
男女共同参画週間パネル展 開催日 令和7年6月23日(月)～6月27日(金) 場 所 市役所 1 階市民活動スペース 内 容 男女共同参画のキホン - 政治編 - 男女共同参画職員研修 対象者 あま市人権施策推進本部 男女共同参画部会員 32人 ① 男女共同参画と防災 開催日 令和7年9月4日(木) ② 女性・LGBT 開催日 令和7年12月22日(月)		A:8割以上	男女共同参画週間パネル展 開催日 令和7年6月23日(月)～6月27日(金) 場 所 市役所 1 階市民活動スペース 内 容 男女共同参画のキホン - 政治編 - 男女共同参画職員研修 対象者 あま市人権施策推進本部 男女共同参画部会員 32人 ① 男女共同参画と防災 開催日 令和7年9月4日(木) ② 女性・LGBT 開催日 令和7年12月22日(月)		継続						
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)											
令和6年度以降は、庁舎1階市民活動スペースを活用している。同時に、人権関係の展示も実施しているため、より多くの市民に向けた啓発ができた。パネル展については、アンケート回答者がゼロであったため、アンケートの呼びかけを検討する。											
【参考指標】			【予算／実績】								
① 催事に参加した市民の満足度(アンケート結果)「非常に満足」または「満足」の割合			講演会、パネル展、セミナー、職員研修にかかる報償費、需用費、委託料等								
② 職員研修参加者の満足度(アンケート結果)「非常に有効」または「有効」の割合											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	82.5%	65.6%	100.0%	—		予算(千円)	401	66	52	50	44
②	96.7%	69.7%	94.3%	91.6%		実績(千円)	232	40	46	41	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価(該当する項目に○)											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた。または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
5点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	8	事業名	男性全般を対象とした参加型講座の開催	担当課	生涯学習課						
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革		基本方針 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発								
施策概要	生涯学習講座の1コマとして、男性全般を対象とした参加型講座を開催する。										
【1】事業実績評価 ①7年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④8年度計画方針											
①計画		②達成度	③実績		④方針						
生涯学習講座において、男性全般を対象とした参加型講座を開催する。		A:8割以上	生涯学習講座において、「大人の楽しいマジック講座」を開催した。 開催日：5月12日・19日・26日、6月2日（火） 場 所：美和公民館 1階実習室 時 間：午後2時～4時 対 象：一般（18歳以上） 定 員：20名 参 加：20名 内 容：ベテランマジシャンから本格的なマジックを学びます。		継続						
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
募集の段階で男性に限定はしていない。今後も男性が参加しやすい講座を企画していく(男性限定ではなく、男性が参加しやすい講座や家族揃って参加できる講座)。											
【参考指標】			【予算／実績】								
① 講座回数			講師謝礼								
② 定員に対する参加率											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	5回	5回	3回	4回	4回	予算（千円）	35	35	21	28	28
②	55.0%		20.0%	82.9%		実績（千円）	35		21	28	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											
評価コメント ・R4、5、6年度の実績だけを見ると、事業の見直しをいただく数字に見える。R3以前はどんな実績だったのか。男性対象とせず家族そろって参加を対象とするような広い視線での検討も一案かと感じる。（R6） ・男性の家事参画のみを意図した募集は難しいかもしれませんが、今後に期待します。今回は、DIY講座というテーマに女性の参加があったことは良い面もあったと評価します。（R4）											
担当課コメント 募集の段階で男性に限定してない。今後も男性が参加しやすい講座を企画していく(男性限定ではなく、男性が参加しやすい講座や家族揃って参加できる講座)。（R6）											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	25	事業名	スクールカウンセラーや心の相談員の配置				担当課	学校教育課			
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革		基本方針 2 子どもにとっての男女共同参画								
	施策⑥児童虐待等の早期発見と未然防止										
施策概要	学校支援会議を開き、スクールカウンセラー・相談員（市雇用）を派遣する。										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
①計画			②達成度		③実績				④方針		
校長からの要請で、緊急ケース会議が開かれることとなった場合、要望により教育相談センターの心理支援相談員及びスクールカウンセラーに会議へ参加してもらう。			C:3割以下		緊急ケース会議を開催し、スクールソーシャルワーカーが会議に参加したが、校長から心理支援相談員の参加要請がなく、心理支援相談員が参加した緊急ケース会議はなかった。				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 心理支援相談員数						教育相談支援費					
② 心理支援相談員が緊急ケース会議に参加した回数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	3人	3人	8人	7人		予算（千円）	6,013	5,659	11,146	8,804	9,080
②	0回	0回	0回	0回		実績（千円）	5,448	5,529	10,203	8,543	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
3点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											
評価コメント R4、5、6年度の実績だけを見ると、必要性を含めた大幅な事業の見直しを要すると感じる。（R6） スクールカウンセラーの存在や相談方法について知らない子どもがいるようです。十分周知していただくをお願いします。（R4） R6担当課コメント 令和6年度より、市内中学校にスクールソーシャルワーカーを配置しており、学校と連携して、必要に応じ個別ケース会議を開催しています。スクールカウンセラーや心理支援相談員が相談した内容については、相談を行うごとに学校と情報共有をしています。											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	31	事業名	人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施				担当課	学校教育課			
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革		基本方針 3 男女平等意識を育てる教育・学習の充実								
施策⑦男女平等の意識を育てるための教育の充実											
施策概要	総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施する。										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
① 計画			② 達成度		③ 実績				④ 方針		
総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施する。			A:8割以上		小学校 1 2 校中学校 5 校すべての学校で人権や男女平等をテーマにした学習を実施した。 各教科において、「人権尊重の教育の視点」を取り入れた授業を実践した。 道徳では、人との関わりにおいて思いやりの心を育てた。 総合的な学習では、体験的に地域の自然、人々や文化など関わることで人権意識を育てている。 特別活動では、小学校においては異年齢集団活動を通して、自己を認め、互いの立場や考えを尊重できる場を設定した。 ソーシャルスキルトレーニングの出前授業や、七宝中学校で実施している「しっぴータイム」をはじめ多くの学校が独自の取り組みを実施することにより、自己肯定感を高めたり、社会のあらゆる差別・偏見をなくしたりするために人権意識を高める教育活動を行った。				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 実施学校数						(当該事業にかかる予算特定不能)					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	17校	17校	17校	17校	17校	予算（千円）					
②						実績（千円）					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										4点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	49	事業名	審議会、委員会への女性の登用促進				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進				基本方針 4 政策決定過程への女性の参画の拡大						
施策概要	あま市の審議会、委員会への女性登用率の目標を「第 2 次あま市男女共同参画プラン」において令和13年度までに30%に定め、審議会等の委員の選出時に女性を積極的に登用する。										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
① 計画					② 達成度		③ 実績			④ 方針	
審議会、委員会等の委員の選出時に女性を積極的に登用してもらえよう、人権施策推進本部会議で啓発し、全職員が共有できるようにする。					A:8割以上		審議会、委員会等の委員の選出時に女性を積極的に登用するよう、3月に人権施策推進本部会議及び庁内情報掲示板で啓発した。			継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
積極的な登用を引き続き啓発していく。 託児等については予算が関係する。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 審議会等（地方自治法第 2 0 2 条の 3）への女性の登用率						予算を伴わない					
② 啓発回数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	27.2%	28.5%	27.9%	32.3%	32.6%	予算（千円）					
②	1回	1回	1回	1回		実績（千円）					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											
評価コメント 女性の登用率を上げるための啓発、共有による効果に疑問を感じる。託児や子連れ参加可能な体制があれば、平日昼間の委員会への参加者が限られる状況を改善できるのではないかと。特に子育て中は地域への関心が高まる時期だと思う。こうした取り組みが潜在的な人材の発掘につながる可能性があるのではないかと。（R6） 市役所組織内で、審議会・委員会等への女性の登用について啓発意識を共有する取組を続けてください。（R4） 担当課コメント 積極的な登用を依頼してるが、各部署のタイミングや担い手不足といった現状がある。引き続き啓発していく。託児等については予算が関係することとなるため、相談があったときは関係課と調整を図ります。（R6）											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	51	事業名	女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション（積極的改善措置）の実施や女性リーダーの育成				担当課	人事秘書課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進				基本方針 4 政策決定過程への女性の参画の拡大						
施策概要	施策⑩審議会等への男女共同参画の促進										
施策概要	市役所の女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクションの実施										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
①計画					②達成度		③実績				④方針
女性職員の能力や適性を考慮し、管理職に登用する。					A:8割以上		新たに女性職員9人を管理職候補となる課長補佐級の職に登用した。				継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 一般行政職主査級担当職以上に占める女性職員の割合						予算を伴わない					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	38.2%	39.4%	41.3%	43.0%	42.2%	予算（千円）					
②						実績（千円）					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
3点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											
評価コメント											
市役所での女性職員を管理職登用は、評価に値すると感じた。（R6）											
女性の昇進が遅れているのは残念な状況です。原因を明確にして対処してください。（R4）											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	56	事業名	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供	担当課	企画政策課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大 施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実				
施策概要	地域で活動する市民活動団体の拠点となる施設「あま市市民活動センター」を中心として、市民活動に関する情報、団体等の連携・交流の場の提供を行うとともに、「市民活動祭」を始めとした交流事業を通じて、地域活動団体及び市民活動団体の活動状況を広く周知し、参加した市民や団体の交流の場を提供する。				
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針					
① 計画		② 達成度	③ 実績		④ 方針
市民活動団体の運営相談 市民活動及び団体等の情報収集・発信		A:8割以上	●市民活動に関する情報提供（SNS投稿件数） Facebook 53件、Instagram 53件、公式LINE 13件 ●登録団体からの情報収集件数 口頭、チラシ、電話、メール、等 合計220件 ●市民活動団体の運営相談 合計48件 ●市民活動祭の開催 テーマ 「出会い、ふれあい、あま市の魅力再発見！」 日時 令和7年10月18日（土）10：00～15：00 場所 あま市役所（第1駐車場） 内容 ・はたらくるま展示 消防車両、警察車両、自衛隊車両、名鉄バス特別仕様車、献血バス ・発酵文化体験エリア 地元発酵関連ブース出店、発酵調味料体験 ・キッズプレイエリア 歴史ゲーム「ハイストーリー」体験会、親子ふれあいショー ・クイズラリー、・フードドライブ ・あまのわエリア 市民活動団体の様々な活動紹介 ・キッチンカー・マルシェエリア ・企画エリア AMA創業塾第1期生による「子どもペイントワークショップ」を実施		継続
【参考指標】					
【予算／実績】					
① 市民活動祭の一般参加者による日頃ボランティアに参加しているかの数値					
② 市民活動祭の一般参加者による参加希望活動があったかどうかの数値					
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	30.0%	48.0%	48.0%	51.0%	
②	25.0%	—	—	—	
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	30.0%	48.0%	48.0%	51.0%	
②	25.0%	—	—	—	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）					
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。					○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。					
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。					○
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。					
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。					
					2点
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	57	事業名	社会教育活動を担う女性団体への支援	担当課	生涯学習課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大 施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実				
施策概要	あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図る。				
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針					
① 計画		② 達成度	③ 実績		④ 方針
・ホウ酸団子作り 日 時：令和7年5、6月予定 ・廃品回収 日 時：令和7年6、11月予定 ・主催講座「いきいき体操教室」 日 時：令和7年6月19日（木）午前9時30分～正午 会 場：甚目寺公民館 講義室1・2 ・夏まつり盆踊り練習会 日 時：令和7年7月5日（土）午後1時～午後3時30分 会 場：甚目寺公民館 講義室1・2・3 ・主催講座「アートフラワー作り」 日 時：令和7年7月予定 会 場：甚目寺公民館 ・主催講座「料理教室」 日 時：令和7年9～10月予定 会 場：甚目寺公民館等 ・主催講座「干支の木目込人形作り」 日 時：令和7年11月予定 会 場：甚目寺公民館 ・チャリティーバザー 日 時：令和7年11月30日（日）午後1時～午後3時 会 場：甚目寺公民館 大ホールホワイエ ・主催講座「手芸教室」 日 時：令和8年2月予定 会 場：甚目寺公民館		A:8割以上	・講演会「認知症予防について」 日時：令和7年4月22日（火）会場：甚目寺公民館 参加者数：63名 ・ホウ酸団子作り 日時：4月～7月 会場：各地区 参加者数：延べ60名 ・主催講座「いきいき体操教室」 日時：令和7年6月19日（木） 会場：甚目寺公民館 参加者数：32名 ・廃品回収 日時：令和7年6月29日（日）・11月22日（土） 会場：各地区 ・主催講座「手芸講座：ポシェット作り」 日時：令和7年7月9・16・23日（水） 会場：甚目寺公民館 参加者数：22名 ・夏まつり盆踊り練習会 日時：令和7年7月5日（土） 会場：甚目寺公民館 参加者数：56名 ・主催講座「楽しいお料理教室」 日時：1回目：令和7年9月20日（土） 2回目：令和7年10月4日（土） 会場：人権ふれあいセンター 参加者数：各20名 ・主催講座「干支の木目込人形作り」 日時：令和7年11月5・12日（水） 会場：甚目寺公民館 参加者数：23名 ・チャリティーバザー 日時：令和7年11月30日（日） 会場：甚目寺公民館 参加者数：95名 ・主催講座「自転車の交通ルール講座」 日時：令和7年12月18日（木） 会場：甚目寺公民館 参加者数：36名 ・主催講座「絵手紙教室」 日時：令和8年2月18日（木） 会場：甚目寺公民館 参加者数：13名		継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	57	事業名	社会教育活動を担う女性団体への支援					担当課	生涯学習課		
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大					
施策概要	施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実										
施策概要	あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図る。										
【参考指標】						【予算／実績】					
① あま市女性の会が主催する事業数						講師謝礼、施設使用料、消耗品					
② 会員数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	6事業	7事業	9事業	11事業	10事業	予算（千円）	200	200	200	200	180
②	103人	127人	133人	130人	130人	実績（千円）	129	177	200	200	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
3点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	59	事業名	休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知				担当課	商工観光課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 施策⑬ワーク・ライフ・バランスの普及啓発						基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組				
施策概要	広報、市公式ウェブサイト等による情報提供を実施する										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
① 計画						② 達成度	③ 実績				④ 方針
広報、市公式ウェブサイト等による情報提供を行う。						A:8割以上	「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2025」の周知案内を市公式HPで行った。 また、11月19日(水)は趣味や家族との団らん等の時間を過ごすことを目的とした“県内一斉ノー残業デー”であることを市公式HP及び広報あま11月号に掲載した。				継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
特段目に見える形で成功しているとは感じることはないが、前年と変わらずに周知を実施した。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 国・県または関係団体からの依頼数						情報提供にかかる費用					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	予算（千円）	0	0	0	0	0
②						実績（千円）	0	0	0	0	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											
1点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	65	事業名	集団保育が可能な障がい児保育の実施				担当課	保育課					
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 施策⑭多様な保育サービスの充実						基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組						
施策概要	軽・中程度の集団保育が可能な障がい児及び食物アレルギーのある児童の保育を実施する。												
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針													
① 計画						② 達成度		③ 実績				④ 方針	
軽・中程度の集団保育が可能な障がい児の保育を実施。 公立保育園 9園実施 私立認定こども園 5園実施						A:8割以上		【実施施設】 ○ 公立保育園：9園 ○ 私立認定こども園：5園 【主な取り組み】 ○「あま市療育等連絡会議」の開催 5回 ・事業計画、実施報告等について ・ケース検討及び情報交換について ○療育研修会の開催 日時：8月29日(金) 午後 2 時より 場所：あま市役所 D会議室 議題：「保護者理解と子ども理解の手がかり」 講師：藤林 清仁氏 (同朋大学社会福祉学部社会福祉学科准教授) 人数：38名 ○「あま市障がい児等保育実施委員会」の開催 3回 ・事業計画、実施報告等について ・在園児、入園申込児の処遇審査について ○私立認定こども園に対する経費の補助の実施				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）													
【参考指標】						【予算／実績】							
① 児童数						障がい児等保育事業費補助金							
② 会議開催数													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	147人	129人	142人	151人		予算（千円）	10,242	13,590	16,252	17,036			
②	11回	16回	16回	16回		実績（千円）	15,222	17,239	19,967	18,168			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○			
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○			
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。													
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○			
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○			
4点													
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	66	事業名	病児病後児保育の実施				担当課	保育課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進				基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組						
施策概要	施策⑭多様な保育サービスの充実										
施策概要	保護者の就労等のために家庭で保育等ができない児童で病気または病気の回復期にあり、集団での保育等が困難な児童を一時的に預かる。										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
① 計画				② 達成度		③ 実績				④ 方針	
実施場所：2か所 あま市民病院内（定員 3 人） ふたば病児保育室（定員 6 人）				A:8割以上		【実施場所（市内2か所）】 ○あま市民病院内（定員 3 人） ○ふたば病児保育室（定員 6 人） 【主な取り組み】 ○研修会への参加（ふたば病児保育室） 「第35回全国病児保育研究大会in愛知」 ・会期：7月20日(日)～7月21日(月・祝) ・主催：一般社団法人全国病児保育協議会 ・会場：愛知県 ウイングあいち ・内容：特別講演・教育講演・会長講演等 ・参加人数：医師 1 名 ○周知啓発活動（あま市民病院内） ・実施日：10月11日（土） ・場 所：あま市民病院内 ・内 容：「あま市民病院まつり」において来場者への周知・啓発等				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
R7から児童が保育中に体調不良となった場合に、保護者が迎えに来るまでの間をより安全に預かることができるよう、看護師等の配置支援を行う、体調不良児対応型保育事業を開始し、公立1園、認定こども園2園、小規模保育事業所 1 施設にて実施。 「送迎時の交通手段の確保」、「適切なスタッフの確保」及び現在の市の財政状況等の課題がある。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 児童数						障がい児等保育事業費補助金					
② 会議開催数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	147人	129人	142人	151人		予算（千円）	10,242	13,590	16,252	17,036	
②	11回	16回	16回	16回		実績（千円）	15,222	17,239	19,967	18,168	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
5点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											
R6評価コメント											
病後児保育の実施に加えて、病後児保育の送迎までサービス拡充を願いたい。また、周知啓発活動を多岐にわたって実施できるよう、検討願いたい。											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	68	事業名	ファミリー・サポート・センター事業の実施				担当課	子ども福祉課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 施策⑮地域における子育て支援の環境づくり						基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組				
施策概要	ファミリー・サポート・センター事業の会員が安心して相互援助を行えるよう、会員を対象に育児に関する知識・技術を身につけるための研修会・会報誌の発行等を実施する。										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
① 計画						② 達成度	③ 実績				④ 方針
・会員数1,047人 (あま市743人、大治町304人) ・活動件数2,741件 (あま市1,692件、大治町1,049件) ・援助会員養成講座10回 ・依頼会員登録説明会12回 ・活動報告・スキルアップ研修2回 ・交流会1回 ・情報交換会1回 ・会報誌発行1回 ・Instagramを活用しPRを行う。						A:8割以上	・会員数1,083人 (あま市767人、大治町316人) ・活動件数3,077件 (あま市1,630件、大治町1,447件) ・援助会員養成講座10回 ・依頼会員登録説明会12回 ・活動報告・スキルアップ研修2回 ・交流会2回 ・情報交換会1回 ・会報誌発行1回 ・Instagramも活用しPRを行った。				継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 会員数						委託料					
② 活動件数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	749 人	751 人	743 人	767 人		予算（千円）	8,647	9,165	9,538	10,359	10,588
②	2,221 件	2,728 件	1,692 件	1,630 件		実績（千円）	8,517	8,684	9,361	9,747	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	70	事業名	放課後等デイサービス、日中一時支援事業の実施	担当課	障がい福祉課						
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組 施策⑱ 障がいのある子どもへのサービスの充実										
施策概要	平日の放課後や休日、夏季休業期間など就学時間外に支援が必要な就学児の居場所の確保する。 ・放課後等デイサービス ・日中一時支援事業										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
① 計画		② 達成度	③ 実績		④ 方針						
引き続き就学時間外に支援が必要な児童に、放課後等デイサービスの利用を勧める。		A:8割以上	放課後等デイサービス 延べ利用人数 5,749人 延べ利用日数 53,080日 給付額 656,055,972円		継続						
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】			【予算／実績】								
① 放課後等デイサービス年間延べ利用人数			扶助費								
② 日中一時支援事業年間延べ利用人数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	4,357 人	4,955 人	5,169 人	5,749 人		予算（千円）	476,884	524,755	631,923	724,105	766,438
②	1,136 人					実績（千円）	466,784	529,842	610,797	656,056	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	76	事業名	交流の場である「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」の開催	担当課	高齢福祉課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組 施策⑩介護者への支援の充実				
施策概要	認知症の人やその家族が地域の人や認知症サポーター等認知症の正しい知識を持った者と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場である認知症カフェ（あま市においては「ふれあいカフェ」と称する）を市内で開催する。				
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針					
① 計画		② 達成度	③ 実績		④ 方針
市内14か所で「ふれあいカフェ」を開催する。それぞれのカフェに対し運営費の補助や運営状況の確認をし運営の支援をする。 また、期間限定でふれあい青空カフェ開催する。		A:8割以上	①ふれあいカフェ美和 延べ250人参加 場 所：グループホーム第2 あま恵寿荘 開催日：毎月第3金曜日 13時30分～15時 ②ふれあいカフェ甚目寺 延べ202人参加 場 所：甚目寺総合福祉会館 開催日：毎月第2火曜日 10時～11時30分 ③ふれあいカフェあまちゃん中萱津 延べ191人参加 場 所：コミュニティプラザ萱津 開催日：毎月第4木曜日 13時30分～15時30分 ④伊福ふれあいカフェ 延べ435人参加 場 所：伊福地区集会所 開催日：毎月最終木曜日 10時～11時30分 ⑤ふれあいカフェあまちゃん下萱津 延べ196人参加 場 所：下萱津コミュニティ防災センター 開催日：毎月第4月曜日 ⑥ふれあいカフェあまちゃん甚目寺公民館 延べ151人参加 場 所：甚目寺公民館 開催日：毎月第2火曜日 ⑦ふれあいカフェJAの花甚目寺 延べ269人参加 場 所：JA甚目寺 開催日：毎月第1金曜日 ⑧ふれあいカフェJAの花美和 延べ214人参加 場 所：JA美和 開催日：偶数月第2月曜日 ⑨新居屋ふれあいカフェ 延べ287人参加 場 所：新居屋憩の家 開催日：毎月第3月曜日 ⑩ご近所カフェポップ 延べ208人参加 場 所：グループホームボブラ 開催日：毎月第2土曜日 ⑪ふれあいカフェあまちゃん正則 延べ125人参加 場 所：正則コミュニティセンター 開催日：毎月第4土曜日 ⑫ふれあいカフェ歌声ぶらす 延べ411人参加 場 所：甚目寺公民館 開催日：毎月第2木曜日 ⑬みんなのカフェふれあい 延べ464人参加 場 所：七宝焼アートヴィレッジ 開催日：毎月第1水曜日 時 間：10時～11時30分 ⑭ごいっしょCafé「あ居ま」カフェふれあい 延べ511人参加 場 所：特別養護老人ホーム第Ⅱあま恵寿荘 開催日：毎月第4土曜日 時 間：11時30分～13時30分 ⑮ふれあい青空カフェ 延べ493人参加 場 所：あま市役所東側交流広場		継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	76	事業名	交流の場である「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」の開催					担当課	高齢福祉課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組							
施策概要	施策⑩介護者への支援の充実												
施策概要	認知症の人やその家族が地域の人や認知症サポーター等認知症の正しい知識を持った者と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場である認知症カフェ（あま市においては「ふれあいカフェ」と称する）を市内で開催する。												
【参考指標】						【予算／実績】							
① 開催回数						基幹包括主催カフェ運営費、カフェ運営費補助金							
② ふれあいカフェ運営費補助金申請団体数（予算に対する率）													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	98回	131回	155回	160回		予算（千円）	350	355	519	562	521		
②	80.0%	100.0%	87.5%	80.0%		実績（千円）	173	216	455	446			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。													
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○		
4点													
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	80	事業名	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供				担当課	人権推進課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進						基本方針 7 誰もが働きやすい職場環境づくり					
	施策②男女の平等な雇用に向けた開発、情報提供											
施策概要	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供をする。											
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針												
①計画					②達成度		③実績				④方針	
女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口を設置する。					A:8割以上		女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口を設置した。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
庁舎、公民館など、より多くの市民の目に触れるように配慮した。												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 情報提供回数						啓発活動にかかる消耗品費等						
②												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	3回	3回	3回	3回		予算（千円）	0	0	0	0	0	
②						実績（千円）	0	0	0	0		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
3点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												
評価コメント（R6）												
チラシは、具体的にどのくらいの人数の方が持ち帰ったのか。また、チラシを見て窓口に来られた人数についても、分かる範囲でお教えてほしい。この事業が「A判定」のため、利用者も一定数いると推察されるが、どうか。												
また、どうしても女性よりも、男性の再就職の方が有利な気がするので、もし女性の再就職についての手応えがあれば教えてほしい。												
商工会を持っている商工観光課からの情報も載せてほしい。												
添え書きがあり、興味を持たれる方はこちらの窓口へどうぞということが少し書いてあると次の一步に進みやすいと思う。												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	88	事業名	シルバーカレッジ（市内在住または在勤の60歳以上の方を対象）、シルバーカレッジOB会（シルバーカレッジ卒業生を対象）の開催				担当課	生涯学習課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援						
施策概要	施策②⑤高齢者の社会参画促進										
施策概要	高齢者の生きがいや健康づくり活動に貢献するとともに、高齢者が本事業を通じて培った知識を生かし、地域発展の一助となるための事業を展開する。										
【1】事業実績評価 ①7年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④8年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
市内在住又は在勤の60歳以上の方を対象にシルバーカレッジを開校し、学習と交流の場を提供するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を図る。 期 間 6月7日（土）から 1月31日（土）まで 講 座 全22回 場 所 シルバーカレッジ教室他 定 員 36名				A:8割以上		市内在住又は在勤の60歳以上の方を対象にシルバーカレッジを開校し、学習と交流の場を提供するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を図った。 期 間 6月7日（土）から 1月31日（土）まで 講 座 全22回 場 所 シルバーカレッジ教室他 定 員 36名 参加者 33名（卒業生 33名）				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 講座回数						講師謝礼					
② 定員に対する参加率											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	20回	21回	21回	22回	23回	予算（千円）	349	320	350	296	225
②	80.0%	91.7%	80.0%	90.9%		実績（千円）	308	300	347	295	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											
評価コメント 受講生及び卒業生が、実際に地域社会で活躍できる環境にしていきたいことを期待しています。（R5・R4）											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	89	事業名	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施				担当課	スポーツ課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援						
施策概要	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、高齢者の社会参画を促進する。										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
① 計画				② 達成度		③ 実績				④ 方針	
スポーツ教室(ボクシングエクサイズ、肩こり・腰痛ケアストレッチ教室、はつらつ健康教室、バラスポエクスポ)、市民体力テスト、市民歩け歩け会、ラジオ体操の集い、市民走ろう歩こう会を開催する。				A:8割以上		高齢者も比較的無理なく参加できる行事を開催した。 ①はつらつ健康教室～シニア運動教室～ 内 容 自らの体力・健康を自覚し、自発的な介護予防 開催日 10月9日(木)～11月13日(木) 場 所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ(東側) 回 数 6回 ②市民ラジオ体操の集い 527名参加(全体) 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月11日(日) 場 所 甚目寺総合体育館 野外ステージ 150名 開催日 5月25日(日) 場 所 美和中学校 運動場 雨天中止 開催日 6月8日(日) 場 所 あま市役所 駐車場 377名 ③市民体力測定会 23名参加(全体) 内 容 市民体力測定会を実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月13日(土) 場 所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ ④市民歩け歩け会 116名参加 内 容 福井県敦賀市金ヶ崎緑地周辺(6km)をウォーキング 開催日 10月12日(日) ⑤市民走ろう・歩こう会 雨天中止 内 容 木曽三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてウォーキング(2km、4km部門)・ジョギング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月25日(日)				縮小	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)											
【参考指標】						【予算／実績】					
① ラジオ体操の集い参加者数(全体)						報償費、傷害保険料、委託料、車借上料、各種借上料					
② 市民走ろう・歩こう会参加者数(全体)											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	409人	635人	303人	527人		予算(千円)	961	1,101	1,181	1,039	1049
②	229人	雨天中止	166人	雨天中止		実績(千円)	218	664	758	668	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価(該当する項目に○)											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	117	事業名	スポーツ・レクリエーション・文化活動を行う場の提供	担当課	スポーツ課
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進 基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援 施策⑳障がいのある人の社会生活向上のための取組				
施策概要	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、障がいのある方の社会参画を促進する。				

【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針

①計画	②達成度	③実績	④方針
スポーツ教室（パラスポエキスポ）、ラジオ体操の集い、市民走ろう歩こう会を開催する。	A:8割以上	障がいのある方も比較的無理なく参加できる行事を開催した。 ①各種スポーツ教室 ②市民ラジオ体操の集い 527名参加（全体） 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月11日(日) 場 所 基目寺総合体育館 野外ステージ 150名 開催日 5月25日(日) 場 所 美和中学校 運動場 雨天中止 開催日 6月8日(日) 場 所 あま市役所 駐車場 377名 ③市民体力測定会 23名参加（全体） 内 容 市民体力測定会を実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月13日(土) 場 所 基目寺総合体育館 メインアリーナ ④市民歩け歩け会 116名参加 内 容 福井県敦賀市金ヶ崎緑地周辺（6km）をウォーキング 開催日 10月12日(日) ⑤市民走ろう・歩こう会 雨天中止 内 容 木曾三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてウォーキング(2km、4km部門)・ジョギング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月25日(日)	継続

成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）

【参考指標】

【予算／実績】

① ラジオ体操の集い参加者数（全体）

② 市民走ろう・歩こう会参加者数（全体）

報償費、傷害保険料、委託料、車借上料、各種借上料

	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	409 人	635 人	303 人	527 人		予算（千円）	143	308	326	193	107
②	229 人	雨天中止	166 人	雨天中止		実績（千円）	14	21	54	168	

【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）

1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。	○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。	○
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。	○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。	○
4点	

事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	130	事業名	生活に関わるあらゆる相談にきめ細かに対応するための母子家庭等相談の実施				担当課	子ども福祉課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援						
施策③ひとり親等生活困窮者への支援											
施策概要	母子・父子自立支援員がひとり親の自立に向けた、就業・子育てに関する相談・支援をする。										
【1】事業実績評価 ①7年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④8年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施する。				A:8割以上		母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施する。 ・母子家庭等相談件数：296件 ・母子家庭等就業相談件数：123件				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
①母子家庭等相談件数						母子父子自立支援員配置費					
②母子家庭等就業相談件数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	335件	180件	239件	296件		予算（千円）	2,441	2,434	3,338	3,461	3,712
②	43件	42件	51件	123件		実績（千円）	2,435	2,245	3,119	3,486	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	138	事業名	性的マイノリティ（LGBT等）の人権に関する講座の開催や、啓発物の配布				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進 施策③④性の多様性と性的マイノリティへの理解促進						基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援				
施策概要	性的指向・性自認（性同一性）の多様性（SOGI）について理解を深めるため、啓発物の配布や、講座を開催する。										
【1】事業実績評価 ①7年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④8年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
・啓発パンフレットを各施設の窓口に配置 ・啓発パンフレットを配布				A:8割以上		・啓発パンフレットを各施設の窓口に配置 ・啓発パンフレットを配布 ・人権施策推進本部員及び幹事人権研修-ファミリーシップ宣誓制度について- 日時：令和8年1月30日（金） 午前10時から午前11時30分まで 場所：市役所 D会議室 内容：ファミリーシップ宣誓制度について 講師：安藤 修（愛知県人権推進課長）				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
①情報提供および講座開催回数						市民向け啓発催事の報償費					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	4回	4回	4回	1回	1回	予算（千円）	20	0	52	0	0
②						実績（千円）	20	52	52	0	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										3点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	145	事業名	複合的な課題やニーズに対応するための重層的支援体制の整備	担当課	社会福祉課
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進 基本方針 9 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援 施策③⑥相談体制の充実				
施策概要	地域住民やその世帯の複雑化・複合化した地域生活課題や支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施する。				
① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針					
① 計画		② 達成度		③ 実績	
重層的支援体制整備事業への移行準備事業を令和 7 年度以降、実施できるように向け検討する。		B:4～7割		重層的支援体制整備事業を 9 年度から開始できるように、他市への視察を 1 回行った。また、係内で打合せを 7 回行った。8 年度のタスクスケジュールも作成しているため、実施に向けて引き続き取り組む。	
				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）					
【参考指標】			【予算／実績】		
① 多機関協働の支援に至った相談件数					
② 事務調整会議（仮称）と重層的支援会議（仮称）の開催回数					
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	0件	0件	0件	0件	0
②	0回	0回	0回	0回	0
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）					
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。					
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。					
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。					
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。					
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。					
点					
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	158	事業名	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施				担当課	健康推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針10 生涯を通じた女性のこころとからだの健康支援						
施策概要	施策③母子保健事業の充実										
施策概要	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施する。										
【1】事業実績評価 ①7年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④8年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
「こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）」産婦・乳児を訪問し、出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の早期発見と未然防止につなげる。				A:8割以上		こんにちは赤ちゃん訪問事業について、519件（内、委託83件）実施。 また、他市町村の依頼によりあま市に里帰りしている市外在住の母子について、こんにちは赤ちゃん訪問を15件実施した。 養育支援訪問として30件実施した。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
こんにちは赤ちゃん訪問実施件数						委託料					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	569件	567件	535件	519件		予算（千円）	640	564	410	410	353
②						実績（千円）	312	247	376	309	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	171	事業名	市の防災会議への女性の登用					担当課	危機管理課								
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進											
施策概要	施策④②防災分野における男女共同参画の推進																
施策概要	防災分野において、男女のニーズの違いなど、男女の視点に配慮した防災活動を進める。防災会議で災害時における女性目線での意見を求める。																
【1】事業実績評価 ①7年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④8年度計画方針																	
①計画					②達成度		③実績					④方針					
防災会議を令和8年2月中旬に開催予定。					A:8割以上		女性委員4人 計画通り、令和8年2月19日（木）に開催した。					継続					
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）																	
【参考指標】										【予算／実績】							
①委員の構成比率 女性／全体（人）										予算を伴わない							
②																	
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	4/24	5/24	4/24	4/24	4/24	予算（千円）											
②						実績（千円）											
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）																	
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。																	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。															○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。																	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。																	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。															○		
2点																	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント																	
評価コメント（R4） 女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人などに細かく配慮した防災・復興ができるよう、女性の視点や意見を大いに活用してください。																	

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	172	事業名	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発、連携体制の推進				担当課	人権推進課				
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進							
施策概要	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発や、連携体制をつくる。											
【1】事業実績評価 ①7年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④8年度計画方針												
①計画					②達成度		③実績				④方針	
・「相互支援ネット」（災害時における男女共同参画センター等の相互支援ネットワーク）で情報共有 ・男女共同参画職員研修 対象者 あま市人権施策推進本部 男女共同参画部会員 32人 ①男女共同参画と防災 開催日 令和7年9月4日（木）					A:8割以上		・「相互支援ネット」（災害時における男女共同参画センター等の相互支援ネットワーク）で情報共有した。 ・男女共同参画職員研修 対象者 あま市人権施策推進本部 男女共同参画部会員 32人 ①男女共同参画と防災 開催日 令和7年9月4日（木）				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
ジェンダーの視点による防災をテーマに、第2次あま市男女共同参画プラン期間に職員研修を実施												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 啓発活動の取組数						啓発活動にかかる報償費等						
②												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	3	3	3	3		予算（千円）	74	0	0	0		
②						実績（千円）	66	0	0	41		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○	
											4点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												
評価コメント（R4） ジェンダーの視点によってあらゆる人が取り残されない災害対策について、官・民および防災部局を含む全庁の各部署が関われるよう努めてください。												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	176	事業名	女性に対する暴力をなくす運動期間について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり				基本方針12 暴力の根絶に向けた意識啓発						
施策概要	女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施する。										
【1】事業実績評価 ①7年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④8年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
・女性に対する暴力をなくす運動期間 広報掲載 ・女性に対する暴力をなくす運動期間パネル展 開催日 令和7年11月12日（水）～11月25日（火） 場 所 市役所 1 階市民活動スペース 内 容 「まさか私も？女性の貧困」 ・市施設のパープル・ライトアップ 開催日 令和7年11月12日（水）～11月25日（火） 場 所 市庁舎及びリバーサイドガーデン				A:8割以上		・女性に対する暴力をなくす運動期間 広報掲載 ・女性に対する暴力をなくす運動期間パネル展 開催日 令和7年11月12日（水）～11月25日（火） 場 所 市役所 1 階市民活動スペース 内 容 「まさか私も？女性の貧困」 ・市施設のパープル・ライトアップ 開催日 令和7年11月12日（水）～11月25日（火） 場 所 市庁舎及びリバーサイドガーデン 周知媒体：市公式ウェブサイト（バナー含む）、 広報あま11月号、市政情報メール、 市公式LINE、市公式Instagram				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 市公式SNSの反応数						啓発活動にかかる消耗品費等					
② 催事に参加した市民の満足度（アンケート結果）の平均点											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	1,663	1,435				予算（千円）	0	0	0	0	0
②	20点	79点				実績（千円）	0	0	0	0	0
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											
R6評価コメント リバーサイドガーデン内ガーデンブリッジ、市役所での開催となっているが市民の認知度が高い場所での開催を検討願いたい。											
R6担当課コメント コスト面のこともありますので、開催場所については検討してまいりたいと思います。											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	184	事業名	地域防犯灯の設置支援				担当課	危機管理課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり				基本方針13 犯罪防止に配慮した環境整備						
施策概要	区等が設置する防犯灯に対し、その設置費用の一部を補助し、防犯灯の設置を促す。また、寿命が長く電気料金も定額となるLED防犯灯の普及を推進、区等の維持管理に関する負担を軽減する。										
【1】事業実績評価 ①7年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④8年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
夜間における市民の安全及び犯罪被害の未然防止を図るために防犯灯設置費補助事業実施する。				A:8割以上		区等に対し防犯灯設置費用を補助した。 計178灯 従来型防犯灯（蛍光灯等） 補助率1/2 13千円/灯 まで補助 LED防犯灯（新設または省エネルギー化のための交換） 補助率2/3 40千円まで補助 LED防犯灯（老朽化による交換） 補助率1/2 13千円まで補助				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 区管理の防犯灯のLED化率						防犯灯設置費補助金					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	80.8%	82.3%	85.0%	93.8%		予算（千円）	8,400	8,400	7,200	4,045	3,500
②						実績（千円）	5,326	3,035	3,451	3,236	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											
										点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	197	事業名	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）の実施				担当課	健康推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり				基本方針13 犯罪防止に配慮した環境整備						
施策概要	施策④⑤相談・支援体制の充実と周知										
施策概要	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）を実施する。										
【1】事業実績評価 ①7年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④8年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待予防の早期発見と未然防止につなげるため、こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）を実施する。				A:8割以上		こんにちは赤ちゃん訪問事業について、519件（内、委託83件）実施。 また、他市町村の依頼によりあま市に里帰りしている市外在住の母子について、こんにちは赤ちゃん訪問を15件実施した。 養育支援訪問として 30件実施した。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
こんにちは赤ちゃん訪問実施件数						委託料					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	569件	567件	535件	519件		予算（千円）	640	564	410	410	353
②						実績（千円）	312	247	376	309	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	198	事業名	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会の開催				担当課	健康推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり				基本方針14 被害者の実情に応じた切れ目のない支援体制の充実 施策④⑤相談・支援体制の充実と周知						
施策概要	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会を開催する。										
【1】事業実績評価 ① 7 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 8 年度計画方針											
①計画					②達成度		③実績			④方針	
母子健康手帳交付時の面談の様子や、収集した情報を元に必要時は支援プランを立案し担当者と情報共有をする。要支援検討会を年に14回開催。必要時、他課と意見を出し合い、プラン変更しながら継続的な支援を行っていく。					A:8割以上		要支援検討会を計14回開催した。健康推進課職員、子育てコンシェルジュ、子ども福祉課職員が参加し、必要時は他課とも連携し、情報共有しながら必要な支援体制を検討、実施した。R7年度のケース検討数は183件、支援プラン作成者は162名であった。			継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 要支援検討会の開催回数						専任コーディネーター、アドバイザー費用					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	15回	15回	14回	14回		予算（千円）	3,603	3,614	4,332	5,038	5,036
②						実績（千円）	3,543	3,033	3,617	3,260	
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											